



お祭り好きの 度合いでは、 だれにも負けない。

よさこいチーム ASO☆KOI華流伝羅

よさこいに欠かせないのが、鳴子だ。



高知県の民謡である「よさこい節」を囃子詞とした「よさこい祭」は、全国各地で特有の「よさこい」として広がっている。佐藤和美さん(後列右から二人目)が地元「華流伝羅」はカルデラを立ち上げたのは二〇〇八年である。「息子が通っていた小学校の運動会でまたま(よさこいソーラン)を見て……」。お祭り好きの度合いでいえばだれにも負けないお母

さんは感激した。🔥 たまたま子ども会の会長だった。「地区の秋祭りにはこれだ！」迷わず決め、人を誘って実現する。すると踊る人、見物する人、みんなが大いに盛り上がった。「これだけウケるなら一回きりではもったいない、と」広く声をかけ、ビラを配った。さあ、どれだけ集まるかと思っていたら、会場の公民館がぎゅしり埋まった。本格活動が始まった。🔥 熊本地震の約半年後、復興祈願の「あそYOSAKOIまつり」が開かれた。県内外から四十三チーム、延べ千人が参加し、躍動した。歌って踊って、そして泣いた。清々しかった。🔥 現在、チーム員は二十数名である。「細く長く無理をせずをモットーに」つづけていくつもりだ。曲も振り付けもオリジナル、衣裳も自分たちで作る。全国各地に「巡業」に出かけて、阿蘇の心意気をアピールする。

人の力を
信じる。

阿蘇の誇りと実りのブランド

阿
zen
Aso City